

C
B
T
用
授
業
科
目
別
到
達
目
標
対
照
表

歯学教育モデル・コア・カリキュラム
—教育内容ガイドライン—

平成22年度改訂版

日本歯科大学
新潟生命歯学部

CBT用到達目標に関連する授業科目名参照用資料(平成28年度)

| 略称 | 科目名 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | |
|-----|--------------|----|---|----|---|----|---|----|---|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| 医概史 | 医学概論・歯科医学史 | | ○ | | | | | | |
| 解剖 | 解剖学 | | | ○ | ○ | | | | |
| 口解剖 | 口腔解剖学 | | | ○ | | | | | |
| 発生 | 発生学 | | | ○ | | | | | |
| 組織 | 組織学 | | | ○ | | | | | |
| 口組織 | 口腔組織学 | | | | ○ | | | | |
| 生理 | 生理学 | | | ○ | ○ | | | | |
| 生化 | 生化学 | | | ○ | | | | | |
| 口生 | 口腔生化学 | | | | ○ | | | | |
| 微生 | 感染微生物学 | | | ○ | ○ | | | | |
| 生防御 | 生体防御学 | | | | | ○ | | | |
| 病理 | 病理学 | | | | ○ | | | | |
| 口病 | 口腔病理学 | | | | | ○ | | | |
| 薬療 | 薬物療法学 | | | ○ | | | | | |
| 歯薬療 | 歯科薬物療法学 | | | | ○ | | | | |
| 薬剤 | 歯科薬剤学 | | | | | | | ○ | |
| 理工 | 歯科理工学 | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 健康 | 健康科学 | ○ | | | | | | | |
| 口保健 | 基礎口腔保健学 | | | | ○ | | | | |
| 地保健 | 地域口腔保健学 | | | | | ○ | | | |
| 歯内 | 歯内療法学 | | | | | ○ | ○ | | |
| 保存 | 保存修復学 | | | | | ○ | ○ | | |
| 歯周 | 歯周疾患治療学 | | | | | ○ | ○ | | |
| 口機診 | 顎口腔機能診断学 | | | | | ○ | ○ | | |
| 部分床 | 部分床義歯補綴学 | | | | | | ○ | ○ | |
| 架義歯 | 歯冠補綴架工義歯学 | | | | | | ○ | ○ | |
| 全部床 | 全部床義歯補綴学 | | | | | | ○ | | |
| 口外術 | 口腔顎顔面外科手術学 | | | | | | | | ○ |
| 口外科 | 口腔顎顔面外科学 | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| 口外診 | 口腔顎顔面外科診断治療学 | | | | | | | | ○ |
| 麻酔 | 歯科麻酔と救急処置 | | | | | | | ○ | ○ |
| 放射線 | ヒトと放射線 | | | | | ○ | | | |
| 画像検 | 画像検査の基礎と応用 | | | | | | ○ | | |
| 矯正 | 歯科矯正学 | | | | | ○ | ○ | | |
| 小児歯 | 小児歯科学 | | | | | | ○ | ○ | |
| 高齢 | 高齢者歯科学 | | | | | | | ○ | |
| 障害者 | 障害者歯科学 | | | | | | | | ○ |
| 心身医 | 歯科心身医学 | | | | | | | | ○ |
| 倫理 | 医療倫理 | | | | | | | | ○ |
| 医法律 | 医療法律学 | | | | | | | | ○ |
| 歯科法 | 歯科法医学 | | | | | | | ○ | |
| 医療管 | 医療情報・医療管理学 | | | | | | | | ○ |
| 社歯入 | 社会歯科入門 | | | | ○ | | | | |
| 医統計 | 医療統計学 | | | | ○ | | | | |
| 生機調 | 生体機能調節学 | | | | ○ | | | | |

CBT用到達目標に関連する授業科目名参照用資料(平成28年度)

| 略称 | 科目名 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | |
|------|-----------------|----|---|----|---|----|---|----|---|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| 人一生 | ヒトの一生 | | ○ | | | | | | |
| 材料科 | 材料科学 | | ○ | | | | | | |
| 顎制御 | 顎口腔運動制御学 | | | | ○ | | | | |
| 唾液 | 唾液と唾液腺 | | | | ○ | | | | |
| 臨診査 | 臨床診査・検査学 | | | | | | | ○ | |
| 口腫瘍 | 口腔腫瘍学 | | | | | | ○ | | |
| 歯感染 | 歯性感染症 | | | | | | | | ○ |
| イ咬合 | 顎咬合診断・口腔インプラント学 | | | | | | | | ○ |
| 内科 | 歯科医のための内科学 | | | | | | | ○ | ○ |
| 食育 | 食育・食術 | | | | ○ | | | | |
| 早臨床 | 早期臨床実習 I・II | ○ | | | | ○ | | | |
| コミュニ | 歯科医療コミュニケーション実習 | | | | | | | | ○ |

注)

1. 記入欄が小さいため、科目名については上記の略称で表してあり、一つの項目に3科目以上入っている場合にはさらに表記を略したことがある。
2. 科目名略称の前の数字は学年を示しており、前期はその学年の数字を()で、後期は○で囲ってある。数字のみは通年の授業を意味している。
3. 上記の科目名略称は正式なものではなく、このCBT用資料に限定したものである。

A 基本事項

A-1 患者の尊厳

一般目標：

患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。

到達目標：

- * ①患者の権利を説明できる。
- * ②患者の自己決定権を説明できる。
- * ③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。

①医概史②社歯入④倫理,医療管

①医概史②社歯入④医法律倫理医療管

①医概史②社歯入④倫理,医療管

A-2 医の倫理

一般目標：

医療、歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。

到達目標：

- * ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
- * ②医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等)を概説できる。
- * ③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。

①医概史②社歯入④倫理,医療管

①医概史②社歯入④倫理,医療管

①医概史②社歯入④倫理

A-3 歯科医師の責務

一般目標：

歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を身につける。

到達目標：

- ①患者との信頼関係を築くことができる。
- ②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
- ③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
- ④患者に最も適した医療を説明できる。
- * ⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。

①医概史②社歯入(4)薬剤④医法律,医療管

A-4 インフォームドコンセント

一般目標：

患者本位の医療を実践するため、適切な説明を行った上で、患者の主体的な同意を得るために必要な対話能力と態度および考え方を身につける。

到達目標：

- * ①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。
- ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
- ③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
- ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
- ⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。

①医概史②社歯入④医法律,医療管,コミュニ

A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理

A-5-1) 安全性の確保

一般目標：

医療上の事故(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)や医療関連感染症(院内感染を含む)

等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止し、患者の安全確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。

到達目標：

①医概史④医療管

*①歯科医療における事故の特異性を説明できる。

④医療管

*②実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。

④医療管

*③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。

④医療管

*④医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。

(2)薬療(4)薬剤④医療管

*⑤医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害や医療過誤等の事例(経緯を含む)、やっではないけないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。

④医療管

*⑥医療機関における医療安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデントレポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等)を概説できる。

⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。

*⑧医療関連感染症の原因および回避する方法を概説できる。

A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防

一般目標：

実際に医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)が発生した場合の対処の仕方を身につける。

到達目標：

④医療管

*①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。

④医療管

*②医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。

④医療管

*③医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。

①医概史④医療管

*④医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定(行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖)の基本的事項を説明できる。

④医療管

*⑤基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルプルーフの考え方など)について概説できる。

A-5-3) 医療従事者の健康と安全

一般目標：

医療従事者が遭遇する危険性(事故、感染等)について基本的な予防・対処および改善の方法を学ぶ。

到達目標：

④医療管

*①医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる。

④医療管

*②標準予防策の必要性を説明できる。

④医療管

*③患者隔離の必要な場合について説明できる。

④医療管

*④針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。

④医療管

*⑤医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。

A-6 生涯学習

A-6-1) 生涯学習への準備

一般目標：

(2)薬療

歯科医学・医療・科学技術の進歩と社会の変化(経済的側面を含む)やワーク・ライフ・バランスに留意し

て、歯科医師としてのキャリアを継続させる生涯学習者としての能力(知識、技能、態度・行動)を身につける。

到達目標:

- ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
- ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
- ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。

(2)薬療

(2)薬療

(2)薬療

A-6-2) 研究マインドの涵養

一般目標:

生命科学や医療技術の成果について生涯を通じて学び、病因や病態を解明するなどの研究マインドを涵養する。

到達目標:

- ①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的としてに行われるべきことを説明できる。
- ②生命科学の講義・実習で得た知識をもとに、診療で経験した病態の解析ができる。
- ③患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげることができる。
- ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に参加することができる。

A-7 対人関係能力

A-7-1) コミュニケーション

一般目標:

信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。

到達目標:

- *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。

【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】

- *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。

- *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

(1)早臨床(3)早臨床④コミュニ,倫理

(1)早臨床(3)早臨床④コミュニ,倫理(4)小児歯

(1)早臨床(3)早臨床④コミュニ,倫理(4)小児歯

A-7-2) 医療面接

一般目標:

良好な患者－歯科医師関係を築くために必要な医療面接の基本的な態度、知識および技能を身につける。

到達目標:

- *①医療面接の役割を説明できる。
- ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。
- ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
- ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。
- ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。
- *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。
- *⑦患者のプライバシーに配慮できる。
- *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。

(1)早臨床①医概史(3)早臨床 ④コミュニ,倫理

③小児歯

③小児歯

③小児歯

③小児歯

④コミュニ,倫理

④コミュニ,倫理

④倫理

A-7-3) 患者中心のチーム医療

一般目標:

患者中心のチーム医療の重要性を理解し、他の医療従事者との連携を学ぶ。

①医概史④医療管④コミュニ

①医概史④医療管④コミュニ3矯正

①医概史④医療管,高齢

到達目標:

*①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。

*②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

*③保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。

B 社会と歯学

B-1 健康の概念

一般目標:

健康と疾病の概念を理解する。

到達目標:

*①健康の概念を説明できる。

*②口腔と全身の健康との関連を説明できる。

*③疾病の概念、種類および予防を概説できる。

①医概史①健康③小児歯

①医概史①健康③症候演③小児歯④口外診

①医概史①健康②食術③小児歯

B -2 健康と社会、環境

B -2-1) 歯科医師法・関係法規

一般目標:

歯科医師法および関連法規の基本的な考え方を理解する。

到達目標:

*①歯科医師法を概説できる。

*②医療法を概説できる。

*③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。

*④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。

①医概史②社歯入③地保健④医法律

①医概史②社歯入③地保健④医法律

①医概史②社歯入③地保健④医法律

①医概史②社歯入③地保健④医法律

B -2-2) 保健・医療・福祉制度

一般目標:

保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。

到達目標:

*①保健・医療制度を説明できる。

【産業保健および医療供給体制を含む。】

*②医療保険制度を説明できる。

【医療経済(国民医療費)を含む。】

*③介護保険制度を説明できる。

*④社会福祉制度を説明できる。

*⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。

*⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。

*⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。

*⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。

*⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。

*⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。

*⑪災害時の歯科医療の必要性について説明できる。

①医概史①健康②社歯入③地保健

①医概史①健康②社歯入③地保健④医療管

①医概史①健康②社歯入③早臨床③地保健④医療管

①医概史①健康②社歯入③地保健④医療管

①医概史①健康①人一生③早臨床④医療管,高齢

①医概史①健康③早臨床④障害者

①医概史①健康④障害者

③地保健④医療管

③地保健④医療管②社歯入

③地保健④医療管

①健康

B-2-3) 歯科による個人識別

一般目標:

歯科による個人識別の重要性を理解する。

到達目標:

- ①個人識別について説明できる。
- ②歯科による個人識別について説明できる。

B-2-4) 環境と健康

一般目標:

環境と健康との関わりを理解する。

到達目標:

- *①環境による健康への影響を説明できる。
- *②環境基準と環境汚染を説明できる。

①医概史①健康

①医概史①健康

B-3 予防と健康管理

B-3-1) 予防の概念

一般目標:

公衆衛生と歯科医療における予防の概念を理解する。

到達目標:

- *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。
- *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。
- *③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。

①健康②口保健

②口保健

①健康③地保健

B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理

一般目標:

口腔疾患の予防と健康管理を理解する。

到達目標:

- *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。
【生活習慣病の改善指導を含む。】
- *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。
【予防填塞とプラークコントロールを含む。】
- *③ライフステージにおける予防を説明できる。
- *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。
- *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。

③保存②口保健③齲歯周③小児歯

②歯薬療③保存②口保健④薬剤③小児歯

(3)地保健

(3)地保健

(3)地保健

B-4 疫学・保健医療統計

B-4-1) 口腔疾患の疫学

一般目標:

疫学と科学的根拠に基づいた医療(EBM: Evidence-based Medicine)の応用を理解する。

到達目標:

- *①疫学とEBM の概念を説明できる。
- *②スクリーニング検査を説明できる。
- *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

①健康②医統計③地保健③冠修復

①健康②医統計

②医統計②口保健③小児歯④小児歯

B-4-2) 保健医療統計

①健康(3)地保健③小児歯(4)小児歯

一般目標:

保健医療統計とその応用を理解する。

到達目標:

*①主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、
歯科疾患実態調査、学校保健統計調査)を説明できる。

①健康

*②主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。

②医統計

*③調査方法と統計的分析法を説明できる。

B-4-3) 保健医療情報

一般目標:

保健医療情報の利用と管理方法を理解する。

到達目標:

④医療管

*①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。

【診療情報(診療録等)を含む。】

④医療管

*②医療情報の開示に関する注意点を説明できる。

C 生命科学

C-1 生命の分子的基盤

C -1-1) 生命を構成する基本物質

一般目標:

生命を構成する基本物質の分子的構造と機能ならびにそれらの生体内代謝とその異常を理解する。

到達目標:

(2)生化②口生②唾液

*①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。

(2)生化②口生

*②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。

(2)生化②口生

*③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。

(2)生化②口生

*④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。

(2)生化②口生②唾液

*⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。

C -1-2) 遺伝子と遺伝

一般目標:

遺伝子の構造と機能および遺伝の基本的機序を理解する。

到達目標:

②口生

*①遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。

②口生

*②DNA複製と修復の機序を説明できる。

②口生

*③転写と転写調節の機序を説明できる。

②口生

*④翻訳の機序を説明できる。

②口生

*⑤遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。

C -1-3) 細胞の構造と機能

一般目標:

細胞の基本的構造を学び、それらと細胞機能、細胞増殖および分化機構との関係を理解する。

到達目標:

(2)組織,生理,生機調

*①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。

(2)組織②唾液

*②細胞の分泌と吸収機構を説明できる。

(2)組織②口生(3)生防御

*③細胞周期と細胞分裂を説明できる。

①人一生(2)発生,組織②口生, ②病理(3)生防御

*④細胞死(壊死とアポトーシス)の基本的機序を説明できる。

C -1-4) 細胞のコミュニケーション

一般目標:

細胞間、細胞・マトリックス間の接着機序および細胞レベルでの情報伝達の仕組みを理解する。

到達目標:

(2)組織②口生(3)生防御

*①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。

(2)生機調(3)生防御②口生

*②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。

(2)組織②口生

*③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。

C -2 人体の構造と機能

C -2-1) 身体の部位と方向用語

一般目標:

身体の部位および方向用語について理解する。

到達目標:

(2)解剖

*①身体の部位を解剖学的に区別できる。

(2)解剖

*②身体の方向用語を正確に用いることができる。

| | |
|----------------------|---|
| ①人一生(2)発生 | <p>C -2-2) 個体発生、器官発生</p> <p>一般目標： 個体の発生の仕組みと人体諸器官の発生を理解する。</p> <p>到達目標：</p> <p>* ①個体発生と器官発生を概説できる。</p> |
| (2)組織 | <p>C -2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>一般目標： 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。</p> <p>到達目標：</p> <p>C-2-3)-(1) 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)</p> <p>【神経組織の構造と機能はC-2-3)-(5)神経系の項を参照】</p> <p>* ①上皮を形態的および機能的に分類できる。</p> |
| (2)組織(3)生防御 | * ②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 |
| (2)組織②唾液 | * ③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 |
| (2)組織②口生 | * ④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 |
| (2)組織 | * ⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 |
| (2)組織②口生(3)生防御 | * ⑥内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 |
| ②口生(2)組織②口組織3歯周3保存 | * ⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 |
| (2)組織,生理 | * ⑧筋組織の構造と機能を説明できる。 |
| (2)解剖(2)発生 | <p>C -2-3)-(2) 運動器系</p> <p>* ①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> |
| (2)解剖,組織②口生 | * ②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 |
| (2)組織②口生 | * ③骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。 |
| (2)組織,生理,解剖 | * ④骨格筋の構造と機能を説明できる。 |
| (2)解剖,組織②解剖,生理(4)臨診査 | <p>【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p> <p>C -2-3)-(3) 循環器系</p> <p>* ①心臓の構造と機能を説明できる。</p> <p>【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p> |
| (2)解剖②解剖,生理①人一生 | * ②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 |
| (2)組織,解剖,生理 | * ③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 |
| ②生理 | * ④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 |
| ②解剖 | * ⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 |
| (2)組織②解剖,生理,(3)生防御 | * ⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 |
| (2)生理②解剖 | <p>C -2-3)-(4) 感覚器系</p> <p>* ①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。</p> |
| (2)生理②解剖 | * ②深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。 |
| (2)生理②解剖 | * ③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 |
| (2)生理②解剖,口組織 | * ④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。 |
| (2)解剖,生理(2)発生 | <p>C -2-3)-(5) 神経系</p> <p>* ①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。</p> |
| (2)解剖,生理 | * ②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 |
| (2)解剖②生理 | * ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 |
| (2)生機調,生理②解剖 | * ④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 |

| | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| (2)組織,生機調,薬療(4)薬剤 | 【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 |
| (2)生理 | *⑤血液脳関門を説明できる。 |
| (2)生理,組織 | *⑥反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。 |
| (2)生理,生機調 | *⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 |
| (2)組織,生機調2生理 | *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 |
| (2)生機調,2生理 | *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。 |
| | *⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。 |
| | C -2-3)-(6) 消化器系 |
| (2)組織,生機調②解剖,生理 | *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 |
| | 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 |
| ②解剖,生理 | *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 |
| ②解剖,生理 | *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 |
| | C -2-3)-(7) 呼吸器系 |
| (2)組織②解剖,生理 | *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 |
| (2)組織②解剖,生理(4)臨診査①人一生 | *②肺の構造と機能を説明できる。 |
| | 【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 |
| | C -2-3)-(8) 内分泌系 |
| ①人一生(2)生機調②解剖,口生 | *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。 |
| | 【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 |
| | C -2-3)-(9) 泌尿器系 |
| ②解剖,生理 | *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 |
| ②生理,唾液 | *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。 |
| | 【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 |
| ②生理,唾液 | *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。 |
| | 【酸-塩基平衡を含む。】 |
| | C -2-3)-(10) 生殖器系 |
| ①人一生②解剖 | *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。 |
| | 【ホルモンによる調節を含む。】 |
| | C -2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 |
| (2)組織②口組織(3)生防御 | *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 |
| (3)生防御 | *②造血器を説明できる。 |
| ②口生(3)生防御 | *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 |
| ②口生,歯薬療 | *④止血と血液凝固の機序を説明できる。 |
| | 【線溶系を含む。】 |
| | C -2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 |
| | 一般目標: |
| | 人体諸器官の成長、発育と加齢による変化を理解する。 |
| | 到達目標: |
| ①人一生(2)発生②病理③小児歯 | *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 |
| | C -3 感染と免疫 |
| | C -3-1) 感染 |
| | 一般目標: |
| | 微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態を理解する。 |

| | |
|----------------------|--|
| 2微生物3保存,歯周④歯感染 | 到達目標: *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 |
| 2微生物3保存,歯周④歯感染 | *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 |
| 2微生物②歯薬療3歯内 | *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 |
| 2微生物(3)生防御,②歯薬療(4)薬剤 | *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 *⑤新興・再興感染症について説明できる。 |
| ④口外診 | *⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。 |
| | C -3-2) 免疫 |
| | 一般目標: 免疫系を理解し、生体防御機構としての免疫反応、感染免疫、アレルギー、主な免疫不全・自己免疫疾患を理解する。 |
| | 到達目標: |
| (3)生防御②病理 | *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 |
| (3)生防御②病理 | *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 |
| | 【抗体の種類と特徴を含む。】 |
| (3)生防御②病理 | *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 |
| ②病理(3)生防御 | *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 |
| ②病理(3)生防御④口外診 | *⑤アレルギーの分類を説明できる。 |
| | 【発生機序を含む。】 |
| ②病理(3)生防御 | *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 |
| (3)生防御 | *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。 |
| | C -4 病因と病態 |
| | C -4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 |
| | 一般目標: 細胞傷害、組織傷害および萎縮の原因と形態的所見を理解する。 |
| | 到達目標: |
| ②病理(3)生防御 | *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。 |
| | 【変性を含む。】 |
| ②病理(3)生防御 | *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 |
| ②病理口生(3)生防御 | *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 |
| ②病理 | *④萎縮と仮性肥大を説明できる。 |
| | C -4-2) 修復と再生 |
| | 一般目標: 修復と再生の意義とこれらの形態的所見を理解する。 |
| | 到達目標: |
| ②病理④イ咬合 | *①修復と再生について説明できる。 |
| ②病理 | *②化生を説明できる。 |
| ②病理(3)口病④イ咬合 | *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 |
| ②病理 | *④器質化を説明できる。 |
| | C -4-3) 循環障害 |
| | 一般目標: 循環障害の成因、形態およびその転帰を理解する。 |

| | |
|------------------|---|
| ②病理 | 到達目標: * ①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 |
| ②病理 | * ⑦ショックの成因と種類を説明できる。 |
| | C -4-4) 炎症 |
| | 一般目標: 炎症の概念、発症機構および病理組織学的特徴を理解する。 |
| | 到達目標: * ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】 |
| ②口生,病理(3)生防御④菌感染 | * ②炎症に關与する細胞の種類と機能を説明できる。 |
| ②病理,口生(3)生防御④菌感染 | * ③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 |
| ②病理(3)生防御④菌感染 | * ④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。 |
| ②病理(3)生防御④菌感染 | |
| | C -4-5) 腫瘍 |
| | 一般目標: 腫瘍の病因と病態を理解する。 |
| | 到達目標: * ①腫瘍の定義を説明できる。 |
| ②病理③口腫瘍 | * ②腫瘍の病因を説明できる。 |
| ②病理,口生③口腫瘍 | * ③異形成を説明できる。 |
| ②病理③口腫瘍 | * ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 |
| ②病理③口腫瘍 | * ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 |
| ②病理③口腫瘍 | * ⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 |
| | C -4-6) 疼痛 |
| | 一般目標: 疼痛の種類、発生機序および制御機構・方法を理解する。 |
| | 到達目標: * ①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 |
| (2)生理 | * ②疼痛の発生機序を説明できる。 |
| (2)生理 | ③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。 |
| | C -5 生体と薬物 |
| | C -5-1) 薬物と医薬品 |
| | 一般目標: 医薬品の分類ならびに薬物と医薬品との関係を理解する。 |
| | 到達目標: * ①医薬品の分類を説明できる。 |
| (2)薬療(4)薬剤 | * ②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 |
| (2)薬療(4)薬剤 | * ③日本薬局方を説明できる。 |
| (2)薬療(4)薬剤 | |

(2)薬療②歯薬療,唾液(4)薬剤

(2)薬療②唾液

(2)薬療②歯薬療,唾液

(2)薬療(4)薬剤

(2)薬療(4)薬剤

(2)薬療②歯薬療(4)薬剤

(2)薬療③口形育(4)小児歯,薬剤

(2)薬療②歯薬療(4)小児歯,薬剤

(2)薬療②歯薬療,病理,唾液③口腫瘍(4)薬剤

C -5-2) 薬理作用

一般目標:

薬物の作用に関する基本的事項を理解する。

到達目標:

- * ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。
- 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】
- * ②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
- * ③薬物の作用機序を説明できる。
- * ④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。
- * ⑤薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。
- * ⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。

C -5-3) 薬物の適用と体内動態

一般目標:

適用された薬物の生体内運命を理解する。

到達目標:

- * ①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。
- * ②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。

C -5-4) 薬物の副作用と有害作用

一般目標:

薬物の副作用、有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。

到達目標:

- * ①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。

D 歯科生体材料と歯科材料・器械

D-1 素材と器械・器具の所要性質

一般目標:

歯科材料に使用される素材と器械・器具の特性と用途に応じた所要性質を理解する。

到達目標:

①材料科(3)理工3保存

*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。

【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】

①材料科(2)理工(3)理工④イ咬合3保存

*②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。

①材料科④イ咬合

*③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。

①材料科(2)理工(3)理工3保存,歯内

*④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。

D-2 成形法と成形用材料

一般目標:

成形を行って使用する歯科材料の種類と特性を理解し、これらの歯科材料の基本的成形方法を修得する。

到達目標:

2理工(3)理工3保存

*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。

2理工(3)理工3保存

*②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。

2理工(3)理工③保存

*③印象材の種類と特性を説明できる。

2理工③保存

*④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。

2理工③保存

*⑤ワックスの種類と特性を説明できる。

2理工(3)理工3保存

*⑥レジン重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。

【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】

2理工(3)理工3保存

*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。

E 臨床歯学教育

E-1 診療の基本

E-1-1) 基本的診療技能

一般目標:

口唇・口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断、治療および予防を行うために必要な基本的な知識、技能および態度を身につける。

到達目標:

③口腫瘍3口機診(4)④口外診 ③小児歯(4)臨診査

*①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。

②病理(3)口病③口腫瘍(4)臨診査④イ咬合,口外診

*②口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。

【歯科治療時の対応を含む。】

(3)保存

③歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。

(3)保存

④診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。

【患者監視装置(モニタ)を含む。】

⑤診療室への患者の誘導を適切にできる。

⑥患者に挨拶して自己紹介できる。

③口腫瘍3歯内,保存,口外科④イ咬合,コミュニ ③小児歯(4)薬剤④口外診

*⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。

③口腫瘍3歯内,保存,口外科④イ咬合,コミュニ③小児歯(4)臨診査④口外診

*⑧的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。

3歯内,外診,保存,口外④イ咬合(3)口形育③小児歯 (4)臨診査④口外診

*⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。

③小児歯④口外診

⑩的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。

3歯内,保存,外診③口腫瘍,保存,口外④イ咬合 (3)口形育③小児歯④口外診

*⑪基本的診察を行った後、次に必要となる検査を想定できる。

③小児歯3保存(4)小児歯

⑫基本的診察および検査結果よりの的確な診断と治療方針を立案し説明できる。

③早臨床④検査,コミュニ③小児歯

*⑬診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。

④口外診

⑭インフォームドコンセントを行うことができる。

③口腫瘍④口外診(4)臨診査

*⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

④口外診

⑯必要に応じて医科に対診できる。

④口外診

⑰患者に関する医療情報を他の機関に提供し、また、求めることができる。

⑱研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。

⑲処方と処方箋の書き方を説明できる。

【インフォームドコンセントと医療面接についてはA-4 とA-7-2)を参照】

E-1-2) 画像検査

一般目標:

画像検査法の特徴と適応ならびに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防

護の方法を併せて理解する。

到達目標:

(3)放射線

*①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。

(3)放射線(4)臨診査

*②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。

③画像検(5)歯放射(4)臨診査

*③放射線防護の基準と方法を説明できる。

①材料(3)放射線③画像検

*④エックス線画像の形成原理を説明できる。

【画像不良の原因を含む。】

(3)放射線

*⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。

(3)放射線3歯内③保存3歯周③画像検

*⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。

(3)放射線3歯内③保存,画像検,口機診④イ咬合(4)臨診査

(3)放射線③画像検(4)臨診査

(3)放射線③画像検(4)臨診査

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔,薬剤④口外術,口外診

(2)薬療②歯薬療(4)小児歯,薬剤,④口外診

(2)薬療②歯薬療(4)小児歯,薬剤④口外診

(4)麻酔④口外術,口外診

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(4)麻酔

(2)薬療(4)麻酔

(2)薬療(4)麻酔

(2)薬療(4)麻酔

(2)薬療3歯内(4)麻酔3保存

(4)麻酔

②歯薬療④麻酔

(4)麻酔

②歯薬療④麻酔

*⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。

*⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。

*⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(CT)、磁気共鳴撮像法(MRI)および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

E-1-3) 歯科麻酔の基本

一般目標:

歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解する。

到達目標:

E-1-3)-(1) 全身管理

*①バイタルサインを列挙し、説明できる。

*②血圧を測定し、状況を把握できる。

*③脈拍数を測定し、状況を把握できる。

*④呼吸数を測定し、状況を把握できる。

*⑤体温を測定し、状況を把握できる。

*⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。

【歯科治療時の対応を含む。】

*⑦患者の服用薬物と歯科治療の関連について説明できる。

【歯科治療時の対応を含む。】

*⑧小児、妊婦、授乳婦および高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。

*⑨患者の全身状態評価を説明できる。

E-1-3)-(2) 精神鎮静法

*①精神鎮静法の特徴と目的および種類を説明できる。

*②吸入鎮静法の適応と禁忌および使用薬物を説明できる。

*③静脈内鎮静法の適応と禁忌および使用薬物を説明できる。

*④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。

⑤精神鎮静法を適切に介助できる。

E-1-3)-(3) 局所麻酔法

*①局所麻酔の目的を説明できる。

*②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。

*③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。

*④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴および臨床使用上の注意を説明できる。

*⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。

*⑥局所麻酔時の合併症(偶発症)を説明できる。

⑦局所麻酔を実施できる。

E-1-3)-(4) 全身麻酔法

*①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。

【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】

*②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。

*③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。

E-1-4) 小手術の基本手技

一般目標:

小手術を適切に実施するために必要な基本的知識を理解する。

到達目標:

④口外術(4)小児歯

④口外術

④口外術(4)小児歯

(4)④イ咬合,④口外術

(4)④イ咬合,④口外術

(4)④イ咬合,④口外術

(4)④イ咬合,④口外術

(4)小児歯

④麻酔④口外診

(1)早臨床(3)早臨床(4)麻酔④口外診

(1)早臨床(3)早臨床(4)麻酔④口外診

(1)早臨床(3)早臨床(4)麻酔④口外診

(4)麻酔④口外診

(4)麻酔④口外診

③保存,④口外診

④口外診

④口外診

④口外診

④口外診

④口外診

(2)食育④口外診

*①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。

【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】

*②小手術の合併症(偶発症)を説明できる。

*③抜歯(小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。

*④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。

*⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

*⑥手指と術野の消毒について説明できる。

*⑦清潔と不潔の区別を説明できる。

*⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。

⑨埋伏歯(智歯を含む)の抜歯法を説明できる。

E-1-5) 救急処置

一般目標:

救急処置の基本を身につける。

到達目標:

*①歯科治療時の全身合併症(偶発症)を説明できる。

*②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。

*③気道閉塞および気道確保法を説明できる。

【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】

*④気道確保と呼気吹き込みによる人工呼吸を実施できる。

*⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器(AED)の操作を実施できる。

*⑥救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。

E-1-6) 口腔保健

一般目標:

口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識、技能および態度を身につける。

到達目標:

E-1-6)-(1) 予防処置

①フッ化物の歯面塗布を実施できる。

②予防填塞を実施できる。

③歯周疾患の予防処置を実施できる。

【E-3-3)-(3)歯周疾患の診断と治療の項を参照】

E-1-6)-(2) 歯科保健指導

①口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。

②セルフケアを行えるように適切な動機づけができる。

③適切な口腔清掃法を指導できる。

④適切な食事指導(栄養指導)を実施できる。

⑤生活習慣に関して適切に指導できる。

⑥禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔がん等の予防を実施できる。

⑦ライフステージに応じた食育について説明できる。

E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患

E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能

一般目標:

頭頸部の基本的な構造と機能を理解する。

到達目標:

- * ①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- * ②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。
- * ③頭頸部の脈管系を説明できる。
- * ④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。
- * ⑤顎関節の構造と機能を説明できる。
- * ⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。
- * ⑦下顎反射の機序を説明できる。
- * ⑧嚥下の機序を説明できる。

E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能

一般目標:

口唇・口腔領域の基本的な構造と機能を理解する。

到達目標:

- * ①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。

【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】

- * ②舌の構造と機能を説明できる。
- * ③歯列と咬合について説明できる。
- * ④唾液の性状と役割を説明できる。

【構成成分とその機能を含む。】

- * ⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。

【分泌調節を含む。】

- * ⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。
- * ⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。

E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常

一般目標:

口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の器官の発生、成長・発育および加齢とその異常について理解する。

到達目標:

- * ①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。
- * ②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。
- * ③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。

【歯の喪失に伴う変化を含む。】

- * ④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。
- * ⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。

E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患

一般目標:

口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因および診断・治療の基本的概念を理解する。

到達目標:

E-2-4)-(1) 先天異常および後天異常

- * ①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。

(2)解剖④イ咬合

(2)解剖②顎制御3口機診③全部床④イ咬合,(4)臨診査

②解剖

(2)解剖(3)口外科②顎制御

②顎制御口外科3口機診④イ咬合(4)臨診査

②顎制御3口機診③全部床冠修復④イ咬合

②顎制御

②顎制御④イ咬合3口機診④口外診

(2)生理②口組織(3)生防御,口外科3口機診

2解剖,生理,口組織②顎制御3口機診③全部床

①人一生(2)口解剖②口形育3口機診,矯正③冠修復全部床③小児歯(4)小児歯,臨診査

②唾液,口生3口機診(3)生防御,保存,歯周④口外診(4)臨診査

②唾液(3)口外科3口機診④口外診,臨診査

②顎制御3口機診(4)臨診査④口外診

②顎制御3口機診④口外術④口外診

①人一生(2)発生(3)口外科

3口外科

①人一生(2)発生②病理(3)口病3矯正

(3)口病3口外科3矯正(4)小児歯

(3)口病②唾液

②病理(3)口病3口外科3矯正(4)小児歯

②病理③口外科④口外術3矯正

③口外科④口外術3矯正

②病理③口病,口外科④口外術④口外診

③口病口外科3保存④口外診

③口外科④口外診

③口外科3歯内,保存④口外診

③口外科④口外術④口外診

③口外科④口外術④口外診

④口外診

2微生物②病理③口病,口外科③口腫瘍3歯内④歯感染

②病理③口外科③口腫瘍3歯内

②病理③口外科,口腫瘍④臨診査

②病理③口病③口腫瘍,口外科④口外診

2微生物②病診③口病,口外科③口腫瘍④歯感染

②歯薬療③口外科④歯感染,口外術④薬剤

③口病③口腫瘍,口外科,口外診,(4)小児歯

④口外診

③口病,口外科③口腫瘍④小児歯

②病理③口病③口腫瘍,口外科④口外診④小児歯

③口病③口腫瘍④口外科

③口病③口腫瘍④口外科

③口病③口腫瘍④口外科④小児歯

③口病,口外科③口腫瘍④口外科④口外術④小児歯

②病理③口病③口腫瘍④口外科

②病理③口病③口腫瘍④口外科

②病理③口病③口腫瘍④口外科

③口病③口腫瘍④口外科

③口病③口腫瘍④口外科

②病理③口病,口外科③口腫瘍④口外科

②病理③口病,口外科③口腫瘍④口外診

③口病③口腫瘍④口外科,④口外術④口外診

②病理③口病③口腫瘍④口外科,④口外術,口外診

③口病③口外科3口機診④イ咬合

③口病3口機診③口外科④口外術

*②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。

*③顎変形症を概説できる。

E-2-4)-(2) 外傷

*①一般的な骨折の種類と特徴および治療過程を説明できる。

*②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。

*③外傷時の検査法を列挙できる。

*④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。

*⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。

*⑥骨折の治療原則を説明できる。

⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。

E-2-4)-(3) 炎症とアレルギー

*①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。

*②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。

*③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。

*④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。

*⑤菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。

*⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。

*⑦主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。

⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。

⑨消炎手術を概説できる。

E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患

*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。

*②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。

E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患

*①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。

*②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。

*③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。

*④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。

*⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。

*⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。

*⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を説明できる。

*⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。

*⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。

*⑩前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を説明できる。

*⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。

*⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。

*⑬口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。

E-2-4)-(6) 顎関節疾患

*①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。

*②顎関節疾患(外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症)の症状、診断法および治療法を概説できる。

E-2-4)-(7) 唾液腺疾患

(3)口病,口外科③口腫瘍(4)口外科

(3)口病③口腫瘍(4)口外科

(3)口病,口外科③口腫瘍(4)口外科

2微生物(3)口病,口外科(4)口外科(4)小児歯

②唾液(3)口病,口外科③口腫瘍(4)口外科(4)臨診
査

(3)口外科(4)口外科

(3)口外科(4)口外科

(3)口外科(4)口外科

(3)口外科(4)口外科

②病理(3)口病,口外科③口腫瘍(4)小児歯

(3)口病③口腫瘍,口外科(4)小児歯

②病理(3)口病,生防御,口外科,口腫瘍(4)小児歯,
口外科④口外診

(3)口病③口腫瘍3口外科(4)口外科

3口外科(3)口病③口腫瘍(4)小児歯,口外科

3口外科(3)口病③口腫瘍(4)小児歯,口外科

(3)口外科,口病③口腫瘍(4)薬剤,口外科

(3)口病(2)食育3口外科(4)小児歯,口外科

(3)口病(2)食育3口外科(4)小児歯,口外科

(3)口病3口外科④口外診

3口機診③冠修復(4)口外科④イ咬合④口外診

④高齢④障害者(4)口外科④口外診

④高齢④障害者(4)口外科④口外診

④高齢(4)口外科④口外診

②唾液④口外診(4)臨診査

*①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。

*②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。

*③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。

*④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。

*⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。

E-2-4)-(8) 神経性疾患

*①三叉神経痛の原因、症状および治療法を説明できる。

*②口腔・顔面痛について概説できる。

*③顔面神経麻痺の原因、症状および治療法を説明できる。

*④三叉神経麻痺(感覚麻痺、運動麻痺)の原因、症状および治療法を説明できる。

E-2-4)-(9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患

*①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を
を列挙できる。

*②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。

*③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。

*④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。

*⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。

*⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。

*⑦口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。

*⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。

*⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。

*⑩ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。

E-2-4)-(10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害

*①咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。

*②嚥下障害を概説できる。

*③言語障害を概説できる。

*④味覚障害を概説できる。

*⑤口腔乾燥を概説できる。

E-3 歯と歯周組織の常態と疾患

E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能

一般目標:

歯と歯周組織の常態を理解する。

到達目標:

①人一生②口組織3歯内③小児歯④小児歯

*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。

【構成成分とその変化および検査法を含む。】

(2)口解剖3歯内③保存③小児歯④小児歯

*②歯種別の形態と特徴を説明できる。

(2)生理②口組織3歯内,保存,歯周③架義歯,小児歯

*③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。

【構成成分とその特徴を含む。】

(2)生理②口組織3歯内③保存,架義歯

*④歯髄の構造と機能を説明できる。

(2)生理②口組織③架義歯3歯周③小児歯

*⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。

E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

一般目標:

歯と歯周組織に生じる疾患の概要を理解する。

到達目標:

②口生③口病3歯内③保存,架義歯

*①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。

(3)口病3歯内③保存

*②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。

(3)口病③保存3歯内

*③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。

(3)口病②口生③歯周③歯周④歯感染3歯内,歯周

*④歯周疾患の病因と病態を説明できる。

②口生③口病,地保健,保存3歯周

*⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。

(2)生理3歯内

*⑥歯痛の機序を説明できる。

E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療

一般目標:

歯と歯周組織に生じる疾患の治療の進め方の基本を修得する。

到達目標:

E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療

(3)口病3歯内,保存③口保健④臨診査

*①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】

3保存

*②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。

【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】

3保存,歯内

*③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。

3保存

*④MI(Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

3歯内,保存

*⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。

3保存,④小児歯

*⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

3保存,③④冠修復②技術工

*⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。

3保存,③④架義歯

*⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。

3保存,歯内③④架義歯③理工

*⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。

3保存

*⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。

3歯内,保存③④架義歯③理工

*⑪仮封の意義、種類および特徴を説明できる。

3保存④架義歯

*⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。

(3)口病3歯内,保存

*⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。

⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。

⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。

⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

⑰修復後の適切なメンテナンスができる。

E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療

3歯内④歯感染(4)臨診査

*①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。

【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】

3歯内④歯感染(3)理工

*②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。

3歯内④歯感染

*③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

3歯内

*④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置および予防を説明できる。

3歯内(3)口病

*⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。

3歯内

*⑥歯内外科手術の種類と適応症を説明できる。

3歯内,保存

*⑦失活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。

3歯内

*⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。

⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。

E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

3歯周

*①歯周疾患の症状を説明できる。

【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】

3歯周(4)臨診査

*②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

【検査法、メンテナンス法を含む。】

3歯周

*③歯周治療の術式と適応症を説明できる。

3歯周

*④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。

(3)口病3歯周

*⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

3歯周

*⑥歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。

⑧歯周外科手術の介助を適切にできる。

⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。

【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】

E-3-3)-(4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療

3歯内③保存

*①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。

②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。

E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療

一般目標:

歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解する。

E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療

③架義歯(4)架義歯

*①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。

③架義歯(4)架義歯②理工

*②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。

【ポンティックの選択を含む。】

3歯内③架義歯(4)架義歯

*③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。

③架義歯(4)架義歯

③架義歯(4)架義歯

②理工(4)架義歯

②理工

3口機診③全部床, 部分床

②理工(3)理工(4)架義歯

(4)架義歯

3口機診(4)架義歯, イ咬合

③架義歯(4)架義歯

③架義歯(4)架義歯

(4)架義歯

④架義歯

3口機診③全部床, 部分床

③全部床, 部分床

③全部床, 部分床

③全部床(4)部分床

③全部床部分床

②理工③全部床, 部分床

③全部床(4)部分床, ④イ咬合

3口機診③全部床(4)部分床④イ咬合

②理工③全部床(3)理工(4)部分床

②理工③全部床, 部分床

③全部床, 部分床

③全部床(4)部分床

3口機診③全部床(4)部分床

(3)理工④イ咬合

④イ咬合

*④支台歯形成の意義と方法を説明できる。

*⑤暫間補綴装置の意義とその製法を説明できる。

*⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。

*⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。

*⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。

【使用方法を含む。】

*⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。

*⑩クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。

*⑪フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。

*⑫歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

*⑬クラウンブリッジの設計を適切にできる。

*⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。

*⑮クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。

E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)

*①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。

*②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。

*③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。

*④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。

*⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。

*⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。

*⑦印象採得の種類と方法を説明できる。

*⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。

*⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。

*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。

*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。

*⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。

*⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

*⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

E-3-4)-(3) デンタルインプラント

*①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。

*②デンタルインプラントの基本構造を説明できる。

③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。

④デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。

E-4 歯科医療の展開

E-4-1) 不正咬合

一般目標:

不正咬合に対する診断、治療の必要性とその意義を理解する。

到達目標:

- 3矯正 *①矯正治療の目的と意義を説明できる。
- 3矯正 *②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
- ③冠修復,3矯正(4)小児歯 *③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。
- 3矯正(4)小児歯 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。
- (3)理工,3矯正 *⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- 3矯正(4)コミュニ *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。
- (3)理工3矯正 *⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。
- 3矯正 *⑧矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。
- 3矯正 *⑨矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。

E-4-2) 小児の歯科治療

一般目標:

成長発達期の小児の歯科治療における留意点を理解する。

到達目標:

- ①人一生(4)小児歯 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。
- (3)口病③小児歯 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。
- ③小児歯 *③乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。
- *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。
- 【小児のラバーダム防湿法を含む。】**
- 3歯内③小児歯(4)小児歯 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。
- 3歯内③小児歯 *⑥乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。
- (4)小児歯 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- ③小児歯(4)小児歯 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。
- (4)小児歯 *⑨保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。
- ③小児歯 *⑩小児患者の対応について説明できる。
- (4)小児歯 ⑪小児の歯科疾患の簡単な症例を処置できる。
- ⑫小児の虐待の徴候と対応について説明できる。

E-4-3) 高齢者の歯科治療

一般目標:

高齢者の身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。

到達目標:

- ①人一生④高齢 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- ①人一生②病理(3)口病,口機診3歯内④ *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
- 高齢③全部床 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- 3歯内,保存,歯周④高齢 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。
- ④高齢 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。

④高齢

*⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。

⑦高齢者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。

④高齢

*⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。

④高齢

*⑨歯科訪問診療について説明できる。

④高齢

*⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。

④高齢

*⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。

E-4-4) 障害者の歯科治療

一般目標:

障害者の身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。

到達目標:

④障害者

*①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。

④障害者

*②障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療に必要な注意点を説明できる。

③障害者およびその介護者に対して歯科保健指導ができる。

④障害者における口腔ケア処置について説明できる。

⑤障害者に対する基本的な対応ができる。

E-4-5) 心因性疾患

一般目標:

心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を理解する。

到達目標:

④心身

*①心身相関を説明できる。

④心身,口外診

*②歯科心身症を説明できる。

④心身,口外診

*③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明できる。

④心身,口外診

*④心理テストを説明できる。

④心身,口外診

*⑤舌痛症を概説できる。

④心身

⑥歯科治療恐怖症を説明できる。

④心身,口外診

⑦心身医学的治療を説明できる。

E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識

一般目標:

歯科医師として必要な全身疾患(内科的疾患)を理解する。

到達目標:

4内科②歯薬療

*①代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。

4内科

*②主要な医科疾患の症候を説明できる。

4内科

*③主要な身体診察を説明できる。

4内科

*④妊娠時の管理に必要な基礎知識を説明できる。

*⑤小児の代表的な疾患を説明できる。